

Hello

we are NVLU

「輪」

学生の今と未来を支援し、見守る





【チーム学生支援】
学 生 部 長：柿沼教授 学生相談室長：吉田教授
保健センター長：大坂教授、馬場看護師
学生部委員会、学生相談室員、学生支援課の皆さん

P.4 特集・ニチジュウの学生サポート

- ・学生部長メッセージ 学生部&学生部委員会
- ・学生相談室
- ・保健センター&学生支援課
- ・第1回ニチジュウふるさとFestival～九州・沖縄編～
- ・Welcome to ニチジュウ～新入生に密着～
- ・PICK UP!! 学友会

P.18 連載・スペシャリストへの道

- ・動物科学科4年次 屋良佳菜さん
- ・獣医保健看護学科4年次 丸山夢翔さん
- ・アメリカン動物病院 飯野章さん&飯野夏世さん(1994年獣医学科卒)
- ・日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 関口弦司さん(2002年食品科学科卒)

P.22 [IR情報]データで読み解くニチジュウ

P.24 [News Topics]ニチジュウCAMPUS NOW

CONTENTS

Hello 
we are NVLU

動物とヒトを繋ぎ、都市と地方を繋ぐ架け橋はヒト自身です。未来につなげるにはヒトとヒトとの繋がりを大切にしなければならず、本大学にとって「繋がり」は強みです。その強みを一言で表すと「Hello」。

獣医と生命科学の情報発信拠点たる我々が世界にHelloと呼びかける必要があるのです。



学生部長

柿沼 美紀 教授 Miki KAKINUMA

-Profile-

東京都渋谷区出身
14歳の時に親の転勤で米国へ。大学では音楽と心理学を専攻。大学卒業後、帰国。国内の大学院を修了後、平成12年4月に日本獣医畜産大学獣医畜産学部心理学教室に着任。

学生相談室が開設され、平成15年から12年間、2代目学生相談室長としてニチジュウの新しい学生支援を築く。平成27年からは学生部長として活躍中。

-Message-

日本と米国を思春期に行き来したことで、中身は同じなのに自分の評価が社会や文化によって変わることを実感。人にはそれぞれ歴史があり、言葉や宗教、文化によって価値観が異なります。相手を尊重し、相互理解を深めることが大切です。

「学生部の仕事は耕すこと」

学生部長 柿沼 美紀

日本獣医生命科学大学の学生部は、学生が育つための場をcultivateする機能を担っています。Cultivateとは耕す、養う、さらには友情を育むといった意味で使われます。その類義語であるcultureは心を耕すという意味から教養、文化という意味になります。ちなみに、生物実験で利用する培地もcultureです。

本学で学ぶ多くの学生にとって、キャンパスは成人式を経て自立する大切な時期を過ごす場所です。さまざまな保護下にあった人たちが独り立ちする場ですが、そのためには日々の試行錯誤が必要になるでしょう。大なり小なり失敗もするでしょう。学生部では、学生が自分の意思で学び、希望を持って卒業できる環境を整備し、学生の試みを後方支援すると同時に見守る役割を担っています。

社会のユニバーサルデザイン化が進む中、本学もさまざまな学生を受け入れています。過去には教員よりも年齢が上の学生も在籍していました。日本語が流暢ではない留学生も在籍しています。多様な背景の人が図書館や食堂、生協をはじめ、学内の施設を共に利用しています。バリアフリー化を通して、他者を尊重し、違いを受け入れ、新しいものを創造することも重要です。学生には大学生活を通して視野を広げることが求められます。

このように、学生が自分の力を存分に発揮できる環境づくりのために、学生部では1)お互いを尊重できる人間関係の育成、2)安心、安全なキャンパス整備、3)知的相互作用が起きやすい場の設定を目指します。具体的には人権教育ワークショップや学生相談室主催のワークショップ、キャンパスハラスメントのない環境作り、学内のユニバーサルデザイン化、部活動やサークル活動、医獣祭、体育祭、ふれあい乗馬会などのサポートなどが挙げられます。

本学は学生数1700余りの小さな大学です。この顔の見える大学の特徴を生かして、学生部では、学生がその力を精一杯発揮できる場を整備することを目指します。

ニチジュウ生が育つ場をcultivateする
学生部

学生生活全般をサポートします

学生部では、学生の修学、課外活動、福利、厚生等の指導及び助言に関すること、学生の賞罰に関すること、その他、学生生活全般に関することを担っており、学生部長、学生相談室長の他、各学年担任で構成している組織です。

また、学生部の円滑な運営、業務遂行のため学生部委員会が設置されています。

2019年度学生部委員会

柿沼学生部長、盆子原教授、和田教授、羽山教授、藤平教授、小竹教授、吉田(充)教授、
落合(由)准教授、百田准教授、岡田准教授、小林准教授、吉村講師 担当事務：学生支援課



PICK UP

安心の福利・厚生制度

学生が無事学業を終えて卒業できるよう、教育環境の整備や安全指導に関して十分配慮を心掛けていますが、不慮の事故をすべて防止することはなかなか困難です。そのため、万が一の場合に備え、学生共済制度として以下の保険に加入しています。

- ・財団法人日本国際教育支援協会「学生教育研究災害傷害保険」
- ・財団法人日本国際教育支援協会「学研災付帯賠償責任保険(Aコース)」
- ・財団法人日本国際教育支援協会「接触感染予防保険」
- ・損保ジャパン日本興亜学校契約団体傷害保険・交通傷害保険

学外事故でも通院1日から補償。
2社の保険契約で保証が
重なるところはダブルで手厚く！
これがニチジュウ学生保険制度の特徴です。



授業中・通学中・部活中等の不慮の事故によるケガだけでなく、対人・対物事故にも備えています！
・インターンシップ中、商品を壊してしまった！
・通学中、歩行者に衝突！けがをさせてしまった！
などにも補償されます。

PICK UP

国立科学博物館大学
パートナーシップ

本学の学生(大学院生・研究生・聴講生を含む)であれば窓口で学生証を提示することにより、国立科学博物館(上野公園の本館の常設展、附属自然教育園、筑波実験植物園)へ無料入館できます。また、特別展は割引料金(620円引き)にて観ることができます。

【制度の特典】

- 1.学生の無料入館
常設展 附属自然教育園 筑波実験植物園
- 2.特別展の割引入館(620円引き)など

PICK UP

履歴書の配付

就職活動のマストアイテム「履歴書」。ほとんどの新卒学生は大学で作った履歴書を使います。他大学では販売しているこの履歴書ですが、本学では無料で配付しています。シウカツ時にはぜひご利用ください。

【配付場所】

- ・E棟1階事務室(学生支援課)
- ・キャリア支援相談室

PICK UP

学割証の利用について

学生・生徒
旅客運賃割引

学生割引(学割)は、JRから指定を受けた学校の学生を対象に、JRの運賃が2割引になるという制度です。片道101km以上、JR線を利用するときは学割が適用されます。※学割を利用する際は、JRの窓口で購入することが必要です(券売機では買えません)。

・証明書自動発行機より発行(E棟1階学生ホール)

【新幹線の場合】

学割で2割引になるのは運賃だけです。特急料金は割引になりません。

新幹線の料金 = 運賃 + 新幹線特急料金

→ココが2割引になるので、全体だと1割ちょっと安くなる！



「学生団体割引」制度もあります。
5割引となりますが、いくつかの条件があるので、
学生支援課で確認してください。

どこに相談したらいいかわからない… そんな場合の、学生相談室



学生相談室長 吉田 充 教授 Mitsuru YOSHIDA

~Profile~
東京都世田谷区出身
大学院まで東京で、その後茨城県つくば市にある農林水産省の研究所で農業に関する研究を行う。その後食品総合研究所で「おいしさ」「機能性」「安全性」の3本柱で研究を深め、平成25年に本学に着任。学生相談室長は2期目(4年目)。
~Message~
一人一人状況が違うので、この方法が良いというものではなく工夫しながら対応します。学生相談室は問題を解決するところというより、周囲の協力を得て問題解決の道筋を立てるところです。どこに相談したらいいかわからない時はどうぞ来てください。保護者からの相談も受け付けます。

学生相談室(E棟1階)
学生生活の中で、出会う様々なことについて、話し合い、相談できる場所です。学生支援課やメール、電話を通しての相談や面談の予約も可能です。

◆メールによる相談窓口
gakusou@nvl.u.ac.jp

対応教員(同学科又は別学科、性別)や日時の希望があれば一緒にご連絡ください。
※相談の内容はメールには書かないでください。



学生相談室ワークショップ

仲間づくりや学業への関心を高められるようなイベント(ワークショップ)を開催し、学生同士や教員とコミュニケーションを行う場を提供しています。

●アイスクリームと木の匙を作ろう2019●

日 時:8月2日(金) 13時~17時
募集人数:30名(定員に達し次第締切)
申 込 先:学生支援課 費用:無料

担当教員:食品科学科(乳肉利用学教室)
准教授 三浦孝之

~Profile~
北海道札幌市出身
酪農学園大学と北海道大学大学院農学研究科で乳製品の研究を行い、平成18年にニチジュウへ。山の見える高尾で、木をふんだんに使った自宅に家族と暮らしています。

——食品科学科(乳肉)の先生がアイスクリームっていうのはわかりますが、なぜ木の匙なのでしょう？
木が好きで、木工を始めました。食品の研究をしていることもあり、木の器を作ってみようという器やスプーン、マグカップづくりをしています。「いびつな形でもいいじゃないか」とアドバイスをうけ、クリ、クスノキ、サクラ、クルミのほか、ニチジュウの倒木もその素材もそれぞれの良さを生かして、形や大きさを決めて木の器を作っています。
手作りの匙で食べるアイスはなかなか貴重な味がしますよ。



昼休みの学生相談
場所:E棟1階学生ホール
担当:
(月)大学首脳
(火)2年次以上の担任
(水)1年次担任
(木)学生相談室教員
(金)本学学生

「アイスクリームと木の匙を作ろう2018」に参加しました！

去年(2年生の時)、このイベントに参加しました。乳肉利用学教室の先輩方が用意してくれたいろんな味のアイスクリームを食べました。
「オレオ」味は美味しかったです。「にんにくチャーハン」味もありました。なかなか体験できないイベントで、楽しかったです。
今年は乳肉利用学教室に入室したので、今度はスタッフとして味の検討会に参加しています。



食品科学科 3年次
中山 深さん
(乳肉利用学教室)

前回の個性豊かな木の匙たち



(教職員向け)学内研修セミナーの実施
学生相談室では、教職員を対象に学内研修セミナーを定期的に開催しています。
・「発達障害学生の支援について」開催H30.12
・「ハラスメント防止」研修会開催H30.9

客観的な視点で解き明かす

学生相談室教員 動物科学科教授 有村 裕 Yutaka ARIMURA

~Profile~
宮崎県三股町出身
子どものころ犬(雑種)を2匹飼っており、犬の散歩当番(係)だったことが影響したのか、高校3年生でフットと獣医学科をめざすことに。卒業後は動物病院には行かずに、基礎研究の道へ進む。
紆余曲折の後、平成25年に本学着任。
~Message~
客観的な視点を持って対応することを心掛けています。



困った時の野瀬先生 学生相談室教員 獣医学科講師 野瀬 出 Izuru NOSE

~Profile~
福岡県北九州市出身
大学進学に伴い上京し、その後都内を転々と。(世田谷→調布→練馬等)
3人の子どもの父。卒業生の動物病院で保護された犬(ミックス)を飼っています。
~Message~
困った時には、気軽に学生相談室を利用してください。E棟1階ラウンジでお昼休みに実施している学生サポートは誰も来てくれないと寂しいものです。

ハラスメントの学生向け窓口
本学では、ハラスメント防止に関するガイドラインを制定し、発生防止に努めていますが、万が一ハラスメントについて悩んでいる場合は学生相談室が対応します。本人だけでなく保護者や友人からの相談も受け付けます。

フランクな人生の先輩 学生相談室教員 食品科学科准教授 小林 史幸 Fumiyuki KOBAYASHI

~Profile~
愛知県田原市出身
実家は牛の肥育農家。(近所の豚の農家さんは豚コレラ大丈夫か心配...)
大学はセンター試験の結果により広島県立大学とマッチング。その後研究室の指導教員に付いて上京し、平成22年に本学着任。学生相談室担当は3年。
~Message~
身構えずフランクに話してもらえることが理想です。人生の先輩として学生と一緒に問題に向き合います。

配慮の必要な学生への対応
学生相談室は、すべての組織及び教職員が連携して配慮が必要な学生の対応窓口となっています。

基本方針はこちら→



ニチジュウの こころの味方 学生相談室 教員

つなぐ学生相談員 学生相談室教員 獣医保健看護学科准教授 山本 昌美 Masami YAMAMOTO

~Profile~
岐阜県生まれの愛知県名古屋出身
大学はロマンを求めて北の大地へ(北海道大学)！その後地元名古屋に戻り研究職の公務員として勤め、7年間の遠距離離婚ののち東京に職を求め、平成20年に本学着任。
~Message~
気楽にお茶を飲みながら、言いたいことを素直に話せる場所として学生相談室があります。学生とどこにつなげれば状況が良くなるのか一緒に考えます。

PICK UP 臨床心理士によるカウンセリング

(場 所)E棟1階学生相談室
(予約方法)学生支援課や保健センターで承ります。

水曜日 12時00分~18時00分 臨床心理士 本間 雅子	金曜日 13時00分~19時00分 臨床心理士 岩井 昌也
-------------------------------------	-------------------------------------

ニチジュウの健康応援団 保健センター

ファッションista★ドクター

保健センター長（学校医）
大坂 元久 Motohisa OSAKA

-Profile-
青森県青森市出身
(150年続く老舗の器屋)
東京大学理学部数学科卒業。統計学を学び、その後日本医科大学医学部を卒業し、医師免許を取得。専門は循環器内科。心臓突然死の研究で、自動車のハンドル部分に装着する機械(日本、アメリカ、ドイツ)、心臓をモニターするアプリ(日本)で特許を取得。
-Message-
保健センターは看護師馬場の人柄で利用者に安心感を与えるオアシスになっています。

保健センターってこんなところ

何度も保健センターを利用させてもらっています。最近では、ミクロトーム(細胞をスライスする切れ味抜群の機械)を扱っていて指を切ったときに処置してもらいました。学部の際は馬術部に所属していて、ちょっとしたケガでもお世話になりました。手際よく対応してもらい、気軽に利用できます。

大学院獣医保健看護学専攻
修士課程 1年次 密本亜矢子さん

💡保健センターは年間1,500件近く利用されています！

保健センター(E棟1階)

- ◆応急処置
学内での負傷、急病等の手当をします。
- ◆健康相談
詳しくは以下の記事をどうぞ！
- ◆健康診断
体温、血圧、酸素飽和度、体脂肪率、血糖値の測定ができます。
- ◆病院紹介
大学周辺の病院の場所や受付時間などの情報提供をします。
- ◆救命法の普及(※AED設置場所)
講習会の他随時質問にも対応します。
- ◆その他お知らせ(アレルギーについて)
- ◆学内献血
献血事業に協力し、表彰されています。

かっぱう着 おっかさん
~~おっかさん~~の~~おっかさん~~！
保健センター看護師
馬場 雅子 Masako BABA

-Profile-
静岡県田方郡函南町出身
日本医科大学付属看護専門学校を卒業し、看護師資格を取得。その後日本医科大学多摩永山病院の外科病棟・内科病棟で10年キャリアを積み、平成15年ニチジュウ初の常勤看護師として着任。
-Message-
大坂先生の奇抜なファッションと学生へのにこやかな対応がウリの保健センターです。ぜひご利用ください。

校医による「健康相談」

健康相談は、自己申告で提出してもらったアレルギー調査票を基に、校医と大学での過ごし方について面談を行います。いざという時(宿泊のある実習や授業で配慮が必要な場合)は、面談の結果を担当教員と共有して学生が大学生活を安心して過ごせるような体制を整えています。
また、4月に行う健康診断で「要治療」や「再検査」の結果の場合、健康相談で説明とともに配付しています。結果についてどんな病気が疑われるのかなど校医に詳しく聞くことができます。必要であれば、診療情報提供書(紹介状)を作成し、医療機関の受診の際に持参すると初診料が減額されるサービスも提供できます。
日時：第2、第4月曜日14時00分～17時00分 場所：学生相談室
※その他幅広い相談を受け付けています。心身の健康に関すること、何でもご相談ください。

救命講習会『あなたはAED使えますか？』

東京防災救急協会の方を講師に招き、AEDの使い方や第1次救急処置を学ぶ講習会です。本学では毎年前期と後期に1回ずつ開催しています。この講習会を受講すると就職活動などの履歴書に記載できる「救命技能認定証」を取得できます。
6月8日に開催した第25回講習会では、体育会へ各部員2名が毎年参加するよう呼び掛けていることもあり、15名の学生が参加しました。

(学生の感想)

いざというときの為に、復習しようと思う。

忘れていたので、改めて学べて良かったです。

今日学んだことで、身近な人の命が救えたらいいと思った。

次回は、12月7日(土)を予定
問い合わせ先：保健センター

ニチジュウキャリアの礎を築いた男

学生支援課長

清水 謙一
Kenichi SHIMIZU

-Profile-
東京都日野市出身
本学畜産食品工学科(乳学教室)卒業。食品メーカー&人材ビジネス企業の勤務を経て、キャリアカウンセラー(CDA)取得。平成23年ニチジュウに転職し、キャリア支援センターの立ち上げに従事。
現在はニチジュウの学生支援&キャリア支援全般を導く課長として活躍。
-Message-
「ニチジュウに来てよかった」を目指して、学生支援・キャリア支援に日々取り組んでいます。

インターンシップの手続きをしました！

キャリア支援相談室では就職相談だけでなく、インターンシップについても相談ができます。環境省と長野県庁のインターンシップの申請手続きをしましたが、特に環境省のインターンシップでは他の省庁とタイミングが異なっており、情報をつかむのが難しかったのですが、学生支援課の渡邊さんがいろいろ教えてくださいました！



獣医保健看護学科
3年次 渡邊咲さん

希望進路を射抜く、
名アーチャー

渡邊 直哉

Naoya WATANABE

-Profile-
千葉県市川市出身
私立4年制大学を卒業後、ニチジュウに勤務8年目。ニチジュウ一筋！さまざまな部署を経験後、学生支援課へ。
学生支援もキャリア支援も何でもやります！
-Message-
大学生生活の4年間は皆さんの人生の大きな影響を与えるとても大切な期間です。日々のちょっとした疑問でも対応します。是非活用してくださいね。

渡邊さんは趣味がアーチェリー。ニチジュウアーチェリー部にも顔を出しているとかいいないとか…



学生支援課(E棟1階事務室)

- ◆修学及び学生生活の支援に関すること
例えば…教室の貸し出し、落とし物、健康診断、証明書や学割の発行、住所変更手続き等
- ◆奨学金に関すること。奨学金の手続き及び相談ができます。
- ◆就職支援に関すること。
- ◆キャリア形成支援に関すること。
- ◆インターンシップに関すること。



ニチジュウキャリアサポート

2021年卒業者向けの「就職ガイダンス」を5月から3月まで全45回予定しています。
後期は10月から本格的にスタートします。
(今後の予定)※抜粋
9月27日(金)17時～
インターンシップ対策セミナー
10月4日(金)17時～
SPI試験対策 ほか
ニチジュウキャリアサポートの詳細はこちら



キャリア支援相談室の
ニューフェイス！

大河原 純 Jun OKAWARA

-Profile-
東京都西東京市出身
ニチジュウ入職は令和元年6月！(つい最近！)
IT企業や医療・福祉系企業の勤務を経て、キャリアコンサルタントを取得。キャリアカウンセラーとして、ニチジュウ生のキャリア支援をすべく現在ニチジュウについて勉強中。
-Message-
皆さんの学生生活や人生をより良いものにするためのお手伝いをさせていただきます。キャリア相談室でお待ちしています。



いつも
ニチジュウ生と…
学生支援課

ニチジュウ生のお姉さん

榎田 有紗
Arisa ENOKIDA

-Profile-
東京都練馬区出身
新卒でニチジュウに入職(3年目)。
学生証の再発行や健康診断証明書の発行、住所変更届など各種届出の受付など窓口業務を担当。施設貸し出しや留学生対応も行っています。
-Message-
大学生活たくさんの思い出を作ってくれたためのサポートをしています。不安なことや話したいことがありましたら、学生支援課までぜひ立ち寄ってください。

学生支援期待の星☆

小川 大輔 Daisuke OGAWA

-Profile-
千葉県成田市出身
昨年10月ニチジュウへ転職し学生支援課へ配属。前職は医療系大学で教務・学生支援を主としたキャリアを積み、これまでの経験を活かしながら、現在は奨学金、大学行事の準備、学生保険、クラブ奨励金等を担当中。
-Message-
有意義な学生生活が送れるよう学生の立場に立って支援をします。窓口に行ってもよかったと思ってもらえる対応を目指します。

学生支援課ってこんなところ♪

体育会の副会長をしています。予算についての書類を学生支援課に提出しにいきました。担当は小川さんです。
小川さんは、廊下ですれ違う時でも顔を見かけるとすぐ声をかけてくれます。とっても話しやすく親しみがありますよ！



獣医保健看護学科
3年次 佐藤勇太さん
(体育会副会長)

ニチジュウ NVLU ふるさとフェス

『Connect with the Future ～動物と人をつなぎ、都市と地方をつなぐ、獣医・生命科学の情報発信拠点～』をミッション・ステートメントに掲げるニチジュウ。そんなニチジュウには全国各地より学生が集まってきています。

繋ぐ架け橋はヒト自身。未来につなげるにはヒトとヒトとの繋がりを大切にする本大学報「Hello, we are NVLU」では、同地方出身者の出会いの場を提供することで、本学にとっての強み「繋がり」を作りたいと新しく企画しました。

九州・沖縄編

同じ出身同士、仲よくしよう！
繋がりを持とう！！



第1回は九州・沖縄地区から！



どんな話で盛り上がった？

■生活のこと
一人暮らしあるある (17%)

こんなことにびっくりしたなどの話題はやっぱりありますね。

■大学のこと (8%)

同じニチジュウ生。大学のこともちろん話しますよね。

■出身地のこと (75%)

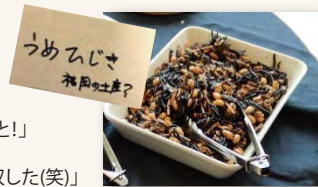
主にどんな話をしたかアンケートをとったところ、「出身地について話した」が一番多く挙がりました。

ローカルトークをしましたか？

ふるフェスでは出身県と出身市町村と名前が記載された名札をかけて参加します。〇〇県の〇〇市ってどの辺？学科は？学年は？そんな話をきっかけにこんなローカルトークが繰り広げられました。

(一部話題を紹介)

・熊本ラーメンVS博多ラーメン？
・出てきた料理の味について
「梅ひじきの梅はカリカリ梅みたいじゃない！」
「がめ煮で里芋とこんにゃくが好きになった。
給食でよく人の皿から里芋とこんにゃくを回収した(笑)」

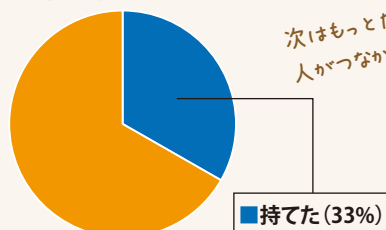


ずっと、県人会のような集まりを希望していました。今回大学報「Hello, we are NVLU」での企画・開催を嬉しく思います。ぜひ、この機会をきっかけに新しい人と人の繋がりとりますように！

ゲスト 柿沼学生部長

この先の繋がりを持てましたか？

連絡先の交換や会う約束をした等、この先の繋がりを持てたと答えた参加者は33%でした。



次はもっとたくさんの人とつながるといいな★



6月13日(木)12時15分～12時45分(昼休み時間帯)にE棟1階学生ホールにて、記念すべき第1回ふるフェスを開催しました。

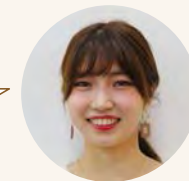
今回、大学報のテーマが「ニチジュウの学生支援」であることから、柿沼学生部長と吉田学生相談室長をゲストとしてお招きし、学部学生14名、九州沖縄出身の教員6名、総勢22名が集まりました。



大分県出身
獣医保健看護学科
生野佐織助教

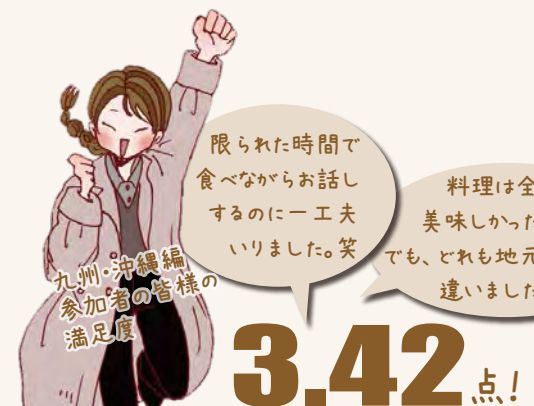
このような会を企画してくださり、ありがとうございます。
獣医保健看護学科はもちろんのこと、他学科の同郷の学生とお話することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
次回開催されるなら、大分の郷土料理が出てきたいね、と学生と話しておりました(笑)ぜひご検討宜しくお願い致します。
今後、さらに参加人数を増やし開催できたら、さらに交流が深まりますね。
次回開催を期待しております。

九州出身者が意外に多かったことに驚きました！
三枚肉の煮つけはポーク卵おにぎりとすごく良く合って美味しかったです。
なんだかんだ楽しめました★



大分県出身
食品科学科3年次
宮下真菜さん

シュウジンカイ
州人会だ！



3.42点！

次回はどの地区で開催でしょうか？
開催地区のご要望は、ir-nvlu1@nvlu.ac.jpまでどうぞ！



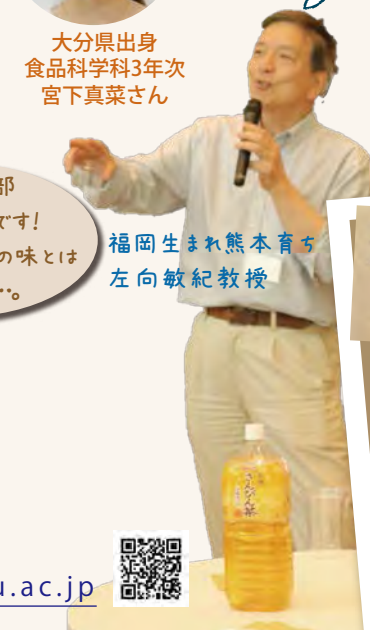
ふるフェスで印象深かった料理ベスト3

- 1 ポーク卵おにぎり
- 2 チキン南蛮
- 3 三枚肉の煮つけ



受験時代コンビニに売ってあってよく塾の自習中に食べた(笑)

部活後によく食べていました。



福岡生まれ熊本育ち
左向敏紀教授



三枚肉の煮つけ(笑)は、すぐになくなってしまいました！お肉おいしー★

ニチジュウ Welcome to NVLU!!

平成最後の入学式

4月4日(木)、桜も満開、穏やかな気候で迎えた平成最後の入学式。緊張した面持ちの新入生が、スーツに身を包み、会場を埋め尽くします。
今年度は学部生370名、大学院生19名が新たな仲間に加わりました。ドキドキの一日はあっという間に過ぎ去りました。



緊張が伝わってきます...



入学おめでとう!



新入生オリエンテーション

この日の最初は学生部長の柿沼美紀教授、教務部長の松石昌典教授からご挨拶がありました。まだまだ緊張している新入生。少しでも緊張がほぐれるといいですね。また、事務部から学生生活についての色々な説明もありました。今日一日は、新歓実行委員の皆さんが付き添ってくれるそうです。なんて頼もしい先輩たち!!



松石教授と柿沼教授からご挨拶。



教職員一同、皆さんをサポートしていきます!



頼もしい先輩たち! 今日一日皆さんの行動をフォローします!!



入学後、学生生活はどうですか??



学科の歓迎会では先輩方とも仲良くなり、選択科目のアドバイスもいただいています! 部活動やサークルにもたくさん入って、交流も増えました。これから実習や医獣祭、部活動の合宿など楽しみです。

(右から)西城亜里さん、大山結衣さん、大山萌恵さん、安藤鈴子さん

新入生の皆さん、ニチジュウへようこそ!!
ここでは本年度の獣医学科1年次の皆さんに入学式から密着し、入学してからどんな生活を送るのか、お伝えします。
数年前に入学した先輩たち!
ぜひとも「あ〜こんなことやったなあ」と懐かしんでくださいね。

新入生に密着!

西城亜里さん
(獣医学科1年次)



カリキュラムガイダンス



皆さん律義に端から詰めて座っていました(笑) 1年生らしいですね!

毎年4月、各学年カリキュラムガイダンスがありますが、新入生にとっては今日が初めて。担任の和田新平教授、牧野ゆき准教授から学生生活や履修登録についての説明がありました。



和田教授からは『veterinary (獣医学)』の説明と、激励の言葉が贈られました。



だんだん緊張がほぐれ、笑顔が見られるように♡

学内 LAN 講習



そろそろ疲れてきたかな? と思いきや、カメラを向けるとサービスしてくれます。

若いっていいね。



大学ポータルの説明や、ウェブメールの使い方などを教わります。分からないところは教職員と一緒に操作したり、隣同士で教え合います。今回は中田友明講師が丁寧に教えてくださいました!

人権教育ワークショップ



この課題がまた簡単そうで、難しい... 答え合わせは大盛り上がりでした!

外部講師による約2時間程度のワークショップを行いました。獣医学科と獣医保健看護学科の新入生で、与えられた課題を全員で行います。今回、このグループは残念ながらクリアはできませんでしたが、皆さんとても充実したような表情でした!

カレーを食べよう！の会

テスト後の疲れた体にはカレーがしみます。



午前中の英語共通テストが終わってから、いよいよ新入生歓迎会がスタート…の前に、学生食堂で腹ごしらえです！この日はカレーライスがなんと100円で振る舞われ(安い!)、テストで疲れた新入生の皆さんも和気あいあいとお昼を楽しんでいました。

凜ちゃん(ケネルクラブ/シベリアンハスキー)も新入生の皆さんにごあいさつ。



凜ちゃん頑張っ〜！



ニチジュウ

Welcome to NVLU!!

新入生 歓迎会

4月6日(土)午後、新入生歓迎会が行われました。委員が数カ月かけ、新しく入ってきた後輩たちのため、アリーナで全学科合同の歓迎会が開かれ、大

この新入生歓迎会は、有志の新歓実行委員会が企画！各学科で歓迎会が行われたあ盛り上がりでした！

各学科それぞれ、趣向を凝らした歓迎会が開かれていましたよ！



今年はこの2人がメインで担当！



新歓実行委員会 委員長
中山 深さん(食品科学科3年次)

新歓実行委員会 副委員長
佐藤 勇太さん
(獣医保健看護学科3年次)

新しい学校生活に不安と緊張を抱えている新入生に対し、学科・学年間の交流会や先輩との交流会を通して不安と緊張をはぐす大切な学校行事！何ヶ月も前から綿密に準備したので、高校までの新入生歓迎会とは別次元の新入生歓迎会を見せられたと思います！！



紙飛行機を飛ばします。頑張って飛ばします。ですが結果は、みんなどっこいどっこいでした(笑)それもまた良い経験！！優勝チーム、おめでとう！



いい感じ〜！



新入生歓迎会(獣医学科)

学科ごとの新入生歓迎会は、各学科2年次の有志が担当。獣医学科はなんとほぼ全員集まり、大きな会場に人がギューギューでした！先輩たちと初対面で(恐らく)緊張していた新入生も、徐々に打ち解けていました。



後輩のためなら漫才もしちゃいます。(漫才中の写真に見えませんが、漫才です。)



『ワードウルフ』というゲームをやったのですが、人狼のようなゲームで、楽しそうでした。

獣医学科1・2年生全員で外で写真を1枚！Vポーズ？が決まっています。



PICK UP!!

学友会

準硬式野球部

主 将:稲葉 嶺
 顧問:太田 能之 教授
 部員数:34名(男子19名、女子15名)
 女子の中にはプレーヤーも!
 活動日:毎週月・木曜日の夕方※試合は主に土日
 学内アリーナ裏や東小金井の外部グラウンド

ニチジュウの準硬式野球部は経験者はもちろん、軟式出身者だったり、未経験者も多いそう。「誰でも大歓迎な団体です!」と主将の稲葉嶺さんは語ってくれました。4年生、5年生の参加率も高く、非常に活気のある部活です。

現在は本学含め4大学が加盟している東都リーグ6部に加盟。5部との入れ替え戦に挑戦するため、リーグ優勝を目指して練習中!

昨年、準硬式野球部は創部50周年を迎えました。50周年を記念して、昨年吉祥寺第一ホテルで記念式典が行われ、記念誌も発行されました!



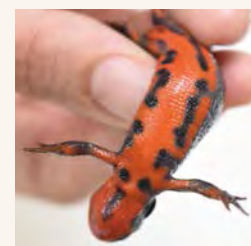
野生生物研究会

部 長:佐藤 愛 部員数:76名
 顧問:羽山 伸一 教授 活動日:月1〜2回(主に土日)

部員数76名という大所帯の野生生物研究会は、「今までは男子が多かったけれど、2年次以下は女子が多い」とのこと。獣医学科、獣医保健看護学科の学生が多く所属していますが、「動物科学科、食品科学科の学生も、初心者でもその道のプロでも、野生生物に興味があれば誰でも歓迎です!」と部長の佐藤愛さんは話してくれました。

活動は主に『野生生物の観察』。月1〜2回の活動では、都内の里山や他県に出向き、生物を皆で観察しているそうです。医獣祭ではアカハライモリの美腹コンテストや、野生生物フォトコンテスト、樹脂標本の販売など、多方面から野生生物についてアピール!今年はかわいい動物のアクセサリーの販売もあるとか…!?

先日の横沢入里山保全地域(東京都)での生物観察では、アカハライモリ、モリアオガエル、トウキョウサンショウウオ、ゲンジボタル、ヘイケボタルを観察したそう。



アカハライモリの腹部の模様は、個体によって違うそうです。今年的美腹コンテストも楽しみです!



“好き”を追求し、学び、楽しむ!

剣道部

主 将:手代木 将吾 部員数:12名(男子5名、女子7名)
 顧問:竹村 直行 教授 活動日:毎週火・木・土

剣道部は、今は経験者がほとんどですが、過去には大学生から始めた人もいたそうです。活動日は週3日で、ほとんどの部員が週2日以上は参加し、稽古に励んでいます!また、毎週木曜日は日本医科大学剣道部も活動しており、合同で一緒に練習することもあるそう。

主将の手代木将吾さんに剣道の素敵などところを尋ねたところ、「他のスポーツとは違い、技術面以外も学べるところ。礼に始まり、礼に終わる。相手への敬意を忘れない。また、たった3〜4分の短い時間で勝敗が決まるところも魅力です。」と教えてくれました。

今年度の成績

東京スポーツフェスティバル
 女子団体準優勝
 男子個人(初段以下の部) 優勝
 女子個人(初段以下の部) 優勝

武蔵野市民体育大会
 女子個人(三段以下の部) 優勝
 女子個人(四段以下の部) 準優勝



去年より良い成績を残せるよう、日々精進



剣道は正直、あまり人気がないスポーツ。そのため毎年部員集めに苦労しています。そのため、入部してくれた後輩を、先輩はものすごく大切にします。上下関係、人との付き合い方、そういったことも剣道部に入部して学び、ぜひとも社会に役立ててほしいですね。

顧問 竹村 直行 教授
 高校生まで剣道を極め、三段を保有。有段者の顧問は竹村教授が初!



生協学生委員

委員会とは、別組織!
 委員長:村山ひとみ
 委員数:7名で活動中。
 ※残念ながら1年生がいません。
 まだまだ学生委員募集中!!
 活動日:不定期(月2〜3回程度)

《活動内容》
 新入生向けのキャンパスライフマガジンの発行、新入生向けのキャンパスライフ説明会(学生、保護者それぞれ別で開催)やPC講習会を行っています。説明会では、キャンパスライフマガジンに載りきらなかった情報や、学生委員が各学科の情報を伝えています。他大学の生協学生委員とも交流があり、良い事例を参考にしながら活動しています。

入学前までの不安を少しでも取り除けるような内容作りを心がけているそう!



日本獣医生命科学大学
 生活協同組合
 理事長 小澤 壯行 教授

私も35年前の学生時代、生協学生委員をやっていました。



活動におじゃましてきました!

「購買を充実させたい、できるだけ利用してほしい!」という思いから、購買で販売したりおすすめ商品としてピックアップするものを全員で試食し、検討しているそう。今回は「学生の健康面のサポートをしたい!」ということで、手軽に野菜を摂取できる野菜ジュースの試飲会が開かれました。生協学生委員だけでなく一般の学生も参加し、野菜ジュースを飲み比べ、おすすめ商品にするものを皆で決めました。

——屋良さんは現在動物科学科4年次です。動物科学科は卒業論文が必修ですが、どのような研究をされているのですか？

システム経営学教室に所属し、沖縄県のヤギについて、「ヤギ肉の生産農家の経営能力の向上と現状」と題して研究しています。

——なぜ“沖縄県のヤギ”なのでしょう？

私自身が沖縄県出身だからです。

——沖縄県から上京されて本学に通われているんですね。地元の大学への進学は考えなかったのでしょうか？

地元の大学は植物などを扱う農業系はあるのですが、畜産系はありませんでした。動物について学びたかったので、畜産系学科がある大学に進学したいと思い、上京しました。

——なるほど。大学進学を機に上京しましたが、就職はどのようにお考えですか？

沖縄県に戻り、畜産業に携わりたいと考えています！

——沖縄県で畜産業に携わることは、大学入学当初は考えていましたか？

ふわっとしか考えていませんでした(笑)

ですが地元に戻るというのはどこかしらで考えていましたね。

——そのきっかけはなんだったのでしょうか？

実習で1週間ほど沖縄県の酪農家にお世話になったのですが、手伝いをしていく中で、大学で学んだことと異なる部分があり、「大学での学びを取り入れたらもっと良くなるのでは」と思うこともたくさんありました。ですが、今の私の立場ではなかなかアドバイスすることができません。大学で得た知識を共有し、沖縄県の畜産業に貢献したいと考えています。

——畜産業でも、“沖縄県”に貢献したいと考えたきっかけはありますか？

地元の沖縄県の酪農家以外に、2年の夏の富士アニマルファームでの農場実習、2年の春のニュージーランド酪農実習にも参加しました。3年生になって地元沖縄県に実習に行き、「帰ろう!」と決意しました。

——2年生の夏休み、3年生になる前の春休み、3年生の夏に牧場実習っていうのは、ある程度の間隔を置いてあるからか、うまい具合に進路を考える機会なんですね！

そうですね。実習に参加したのをきっかけに自分の進路について考えてますね(笑)

ニチジュウのイイところは座学だけではなく実習がたくさんあることだと思います。

——屋良さんは、今就職活動中と伺いましたが、どんなスペシャリストを目指していますか？

現場で働いている人たちがより良い畜産経営を行えるよう専門的な知識を生かし、それぞれの農家の方々にあったサポートができるスペシャリストを目指しています。

沖縄県の畜産職にもチャレンジしています。父も(畜産職ではないが)公務員で、仕事にやりがいを持っていて興味がわきました。公務員の勉強は絶対無駄にはならないと思います。

畜産関係の企業も探していきたいと思っています。いずれにしろ沖縄の畜産業に貢献したい(笑)

——入学前にはふわっとしか考えていなかったという将来が、この東京武蔵野の地ニチジュウでしっかりと固まって示されたことがうれしいです。今後、大好きな故郷・沖縄の畜産業での活躍期待しています。就職活動、引き続き頑張ってください！応援しています★



▲屋良さんのベストスポットは研究室。システム経営学教室で、友達とおしゃべりするとリラックスできるそうです。

取材メモ

◆農場実習
2年生の夏休みに富士アニマルファームで行われる。朝4時30分起床、夜の討論・発表まで3泊4日充実プログラムの定番実習！

◆動物科学学外実習
牧場、動物園学外で実習し、専門的な見識を広げるインターンシップを兼ねた実習。歴代の動物科学科学生はいろんなところで実績を残しています。
(ニュージーランド酪農実習は現在実施していません。)

THE ROAD TO SPECIALIST

スペシャリストへの道

本学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」。～学生編～
獣医、獣医保健看護、動物、食品に関する専門職(スペシャリスト)の道を歩むことを目指す学生の活動と既に歩んでいる卒業生の活躍を紹介します。



多くの選択肢から、
自分の道を切り拓く。

新薬開発を通して医療への貢献を志す
CRA(臨床開発モニター) 丸山 夢翔



丸山 夢翔 (Yumeka MARUYAMA)
獣医学部獣医保健看護学科 4年次
獣医保健看護学基礎部門所属

取材メモ

CRA(Clinical Research Associate/臨床開発モニター)とは新しい薬を製品化する上で不可欠なテスト「治験(臨床開発試験)」が適切に行われているかモニタリング(監視)するスペシャリスト！
薬の安全性と有効性を証明する症例データを収集し、実際の効果や人への影響、安全性を調査し、管理します。

※CRAは、製薬メーカーもしくはCRO(Contract Research Organization / 開発業務受託機関)のどちらかで働くのが一般的です。

——丸山さんは現在獣医保健看護学科4年次ですが、最初は動物看護師を目指していたんですか？

最初はそう考えていました。猫を拾ったときに獣医さんに診てもらい、一生懸命生きようとしている姿を見て、動物に携わる仕事がしたいと思いました。最初は獣医師になりたかったのですが(笑)、動物看護師もいいなと思いました。

——丸山さんは教職課程も取られていますね。教職を取ろうと思ったのはなぜですか？

せっかく大学に入ったので、大学でできることをやりたいと思ったのと、家族が全員教員免許を持っており、社会に出た後も役立つと思ったからです。友人も取っている人が多く、大変ですが皆で助け合っています(笑)

——さまざまな経験をして、将来を考えた結果、これからCRO業界(開発業務受託機関)に足を踏み入れようとしているんですね。何かきっかけはあったのでしょうか？

最初は動物関連業界を目指してペット保険会社なども検討しました。ですが、研究室の先輩が



▲オープンキャンパスの時、モーモーベンチに座って写真を撮ったのが思い出。

CRO業界を目指していて、私も興味があり、3年次の夏にインターンシップに参加し、目指してみようと決意しました。それから、父をガンで亡くしていたこともきっかけです。父が闘病中、私は「病気を治す薬があれば」と思う日々でした。新薬を待っている患者様に少しでも早く、安心して治療に臨めるようにしたいという思いが強くなりました。

また、これから挑戦するのは、人の医療中心の業界にはなりますが、獣医療に貢献したい気持ちはもちろん常に持っています。動物医療センターでの実習で、飼い主様にお渡しする薬を準備している時に、人の薬が動物にも使われていることを知りました。人に用いる新薬開発の手助けをすることは、将来的に動物のためにもなるのではないかと思います。

——なるほど。インターンシップは何社が参加したんですか？

CRO業界のインターンシップは1社のみでしたが、他の業界のインターンシップも結構行きました。就活サイトを活用したり、先輩に聞いたりして参加しました。

——自分の将来像をしっかり定め、見事CRO業界の内々定を獲得されたんですね。本学での学びはどんなところで活かされると考えていますか？

私が内々定をいただいている職種はCRA(臨床開発モニター)といって、治験を計画通りに行わせる仕事です。ドクターや製薬会社の方はもちろん、CRC(治験コーディネーター)や薬剤師など、様々な人と話す機会が多いです。そのため、“相手に伝える力”が重要だと思っています。動物看護

師としては獣医師、飼い主様など、相手に伝える力がいかに大切か、授業や実習を通じて学びました。また、教職課程では相手の立場になって多面的に物事を考え、どうすれば理解しやすいかを考えてきました。そういったところが、CRAとして役立つのではないかと考えています。

——相手に伝える力を身につけるために努力したことはありますか？

相手に話すとき、どうすれば相手に伝わるのかを一度自分の頭の中で考えるようにしました。今まで、思ったことをばっと伝えてしまいがちだったので。そして伝わりやすいよう、内容を順序立ててから話すようにしています。

——たくさん考えた上の決断ですね!最後に、CRO業界を目指す後輩に一言お願いします。

私は「CRO業界は薬学部が多い」と、勝手なイメージを持っていました。しかし、就職活動を通して気づいたことは「医療に貢献したい!多くの人の命を救いたい!」という思いの強い人が多く集まっているのがCRO業界だったということです。命にかかわる責任感のある仕事だとは思いますが、1人でも多くの患者様を助けたいという強い思いがあり、それをきちんと伝えられれば道は拓けます。ぜひ諦めずに、目指してほしいです。

——自分の将来を模索し、夢を叶える一歩を踏み出した丸山さん。丸山さんが携わった新薬が誰かの助けになる日が来るのは、そう遠くないかもしれません。

屋良 佳菜 (Kana YARA)
応用生命科学部動物科学科
システム経営学教室所属



学んだ知識を生かした仕事がしたい。

大好きな地元・沖縄の畜産業を志す
屋良 佳菜

THE ROAD TO SPECIALIST スペシャリストへの道 ～卒業生編～

——本日はお忙しい中ありがとうございます。まずはお二人が獣医師を目指したきっかけを教えてください。

(章先生)動物が好きだったのが大きな理由です。また、飼っていた小鳥の突然死もきっかけでした。(夏世先生)英語が好きで、英語の先生が獣医師の二択で迷っていました。ですが動物が好きなのと、父の姿を見て自分の将来が想像しやすかったのもあり、獣医を目指すことを高校2年生の時に決めました。

(章先生)お父さん大好きだもんね(笑)

——お二人は本学で出会い、ご結婚を機に夏世先生のお父様の病院を継がれたんですね。

(章先生)そうです。義父の働き方に共感して継ぐことを決意しました。義父はアメリカに留学して、「もっと飼い主や自分の生活のことを考えて仕事をしたほうがよいのでは?」と考えるようになって

たそうです。のんびりと、あまり仕事をやりすぎるなという考えでした。当時は珍しいですよ。(夏世先生)私は患者さんの名前を覚えるために、卒業後すぐに病院に入りました。学生時代から病院を継ぐことをほぼ決めていましたので。新しい患者さんを取り込むのは主人の役目でした(笑)

——章先生に質問ですが、病院を経営する中で大切にしていることを教えてください。

自分も含めたスタッフの心身の健康です。健康じゃないと仕事はできませんからね。

——心身の健康は大切です!働く環境という視点で、気をつけていることはありますか?

なるべく残業をしない、させないようにしています。週休二日制にし、早番、遅番を設け、時間通りに帰れるようにしています。うちの病院は一番短い人で10年働いているから、コミュニケー

ションは取りやすいですね。スタッフ同士で休みを調整したり、プライベートを充実できる環境はあるんじゃないでしょうか。それから、仕事がつくならないように分散させています。

——そんなお二人を見て、お子さんも獣医師を目指して本学に通われているんですね!

(章先生)僕は息子には、「昔と違って専門医も増え、競合病院も多くなったから大変だよ」と伝えただけです。僕は息子の学校行事に一度も行ったことがないですし、少人数で病院経営している獣医師がまだまだ多いですから、自分を犠牲にしないとできない職業です。そんな中で、親と同じ職業を選んでくれたことは友人から羨ましがられます。

(夏世先生)結構強く言っていたよね(笑)私は息子には、「自分の将来だから自分で考えなさい」とだけ言いました。

——お子さんにはどんな獣医師になってほしいですか?

(章先生)動物と飼い主さんの両方の気持ちを汲み取って、最善の方針を示せる獣医師になってほしいです。

(夏世先生)動物の気持ちや飼い主さんの思いに寄り添いながら、知識や技術を身に着け、いろいろな経験をし、少しでもお役に立てるような獣医師になってほしいですね。

——最後に、在学生へのメッセージをお願いします!

(章先生)時間も体力も人生の中で一番充実しているときです。様々なことに興味を持ち、見聞を広めてください。専門分野で行き詰まったり、迷ったとき、思わぬところからの経験が役に立つことが必ずあります。

(夏世先生)どの仕事に就くにしても、将来の自分の姿を想定してそこに向かって頑張ってください。

——ありがとうございました!

取材メモ

なぜ「アメリカン」なのか尋ねてみたところ「義父がアメリカに留学していたこと、米軍住宅が近くにあったから」とのこと。患者さんや獣医師仲間にも、よく聞かれるそうです!



飯野 章 (Akira IINO) (写真左)	飯野 夏世 (Natsuyo IINO) (写真右)
1994年 3月 日本獣医畜産大学 獣医畜産学部獣医学科卒業	1994年 3月 日本獣医畜産大学 獣医畜産学部獣医学科卒業
1994年 4月 都内一次診療病院勤務	1994年 4月 アメリカン動物病院
1996年10月 日本獣医畜産大学付属 動物病院研修生	
1997年 4月 アメリカン動物病院	

患者さんもスタッフも、
末永く付き合える病院に。

アメリカン動物病院
獣医師 飯野 章・飯野 夏世

関口 弦司 (Genji SEKIGUCHI)
2002年3月 日本獣医畜産大学
獣医畜産学部食品科学科卒業
2002年4月 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社入社
営業部配属
2009年4月 R&Dユニット(商品開発部)異動
2011年4月 営業部異動
2015年4月 商品開発部異動
2017年4月 研究開発部(社内設立)異動
現在に至る

おいしさ、しあわせ創造企業

「おいしさ」を通じて、人々をしあわせにすること。日本KFCホールディングスグループは、「おいしさ、しあわせ創造企業」を理念に掲げ、「本当のおいしさ」を通じて人々をしあわせにすることを使命として企業活動を行っています。みなさまに信頼され、愛される企業であり続けるために、私たちは、これからも「豊かな食」をご提供し続けてまいります。

どんな時も現場目線を忘れない。

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
研究開発部 関口 弦司

——本日はお忙しい中ありがとうございます。関口さんはなぜ今のお仕事に決めたのでしょうか?

食品業界を中心に就職活動をしていました。「店舗を管理したい!店長をやりたい!」という気持ちがあり、店舗展開している企業を主に受けていました。また、いずれは商品開発に携わりたいとも思っていました。弊社に決めたのは、人事担当から素材や手作りに対するこだわりを持っていると感じられたからです。

——最初は営業部配属で、その後商品開発部に異動されていますね。

新入社員は営業部(店舗勤務)からスタートします。例えば私のように「商品開発がやりたい」と思っても、商品やお店のオペレーションを分かっていないと、どんな商品が作れるか分からない。現場(店舗)を知っていた方が絶対に後々良いんです。その後、社内出向制度があって商品開発部に手を挙げました。商品開発部で2年間経験を積み、店舗に戻りました。この時はチキンチーム(季節商品チキンの商品開発)にいたのですが、助手として働く事が多かったです。

——その後、また商品開発部に戻られたのですね。

はい。今度はサイドチーム(サイドメニューの商品開発)になり、エビぷりぷりフライ(正月販売)、フライドフィッシュ、カーネリングポテト(2019年5月終了)などに携わりました。

——現在の研究開発部ではどんなことを行っているのですか?

研究開発部は、オリジナルチキン専門の部署です。今までは複数の部署に跨って管理されていたのですが、一部署で管理することになりました。食品の安全基準も時代と共に変わります。その基準と、創業者のカーネル・サンダースのレシピを守りながら調理テストを何度も行い、導入に向けて改良しています。テスト販売から拡大し、全店規模での販売になる事は、非常にやりがい

を感じます。

また、オリジナルチキンだけでなく、カーネルクリスピーなどチキン原料の定番商品も扱っています。

——なるほど。関口さんは入社当初からの夢を叶えましたが、差支えない範囲で貴社の人事制度を教えてください。

社内制度(当時は社内公募制度)が色々あり、平等に機会が与えられ、選考を通れば希望の部署に行くことも可能です。

また、職位に応じた研修制度もあり、様々な知識を身につけることができます。

——学生時代の経験で今活かされていることはありますか?

学生時代は陸上競技に力を入れて活動しており、諦めず目標に向かって突き進む忍耐力、皆で助け合いながら一致団結し、困難を乗り越える団結力を学びました。店舗時代、本社勤務問わず、仕事をしていく上での大きな土台となっています。

——研究室は食品化学教室に所属されていましたが、研究室生活はどうでしたか?

研究室では、勉強の仕方、進め方、そして考え方を学びました。社会人になっても活かされていると思います。部活動などもありますが、交友関係を広げたり学生生活を満喫するなら研究室に入った方が絶対に楽しいです。

——最後に、学生の皆さんに一言お願いします!

大学で勉強している内容は、社会に出ても考える基礎となります。今を楽しく勉強して、覚えておいても無駄になるような知識はないと思います。何気ない事にも疑問を持つ事や、物事の見方を別の角度からみている癖をつけると考える力になると思います。

——ありがとうございました!

ある1日のタイムスケジュール

9:00 出社
メール、一日のスケジュール確認
10:00 メーカー連絡/試作調理準備
12:00 昼食
13:00 試作調理
16:00 試作品評価
17:00 評価まとめ(改良方向性確認)
18:00 調理室片づけ/退社
※本社勤務以外に、店舗に行き調理テスト、商品確認、お客様アンケートなどをする日も!



▲「おすすめ商品は?」と尋ねると、「やっぱりオリジナルチキン。毎日食べても食べ飽きません。」とのこと。好きな部位は社内でも分かれるそうです!



取材メモ

季節限定商品の中でも人気の高い『レッドホットチキン』の開発者は、なんと本学卒業生の宮真二さん!現在、関口さんと同じ研究開発部の部長として活躍されています。例年、暑い夏の時期に数量限定で販売されています。皆さんお試しいただけましたか?まだ食べたことがない方は、ぜひお試しください!

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
研究開発部部長 宮真二さん
(1990年日本獣医畜産大学畜産食品工学科卒業)





あなたが学生時代に是非やりたいと
考えていることを、ひとつだけ書いて
ください。

■新入生アンケート2019より抜粋

【調査日】 平成31年4月5日(金)
※学内LAN講習会の学修支援システムの
利用方法の演習として実施
【設問数】 32問※回答時間は10分間程度
(1) 広報戦略関連の質問
(2) ポリシー検証関連の質問
(3) 学生支援・サービス関連の質問

【実施方法】
Web回答(学修支援システムアンケート)
【調査対象】
令和元年度学部入学学生370名
【回答者数】
365名(回答率:98.6%)

1^{Rank} 部活・サークル

部活サークルを
したい目的は
様々なようです!

- (一部抜粋)
- ・サークル後悔しないように楽しむ
 - ・サークル!
 - ・サークルで新たな技術を得たい
 - ・サークルなどで人との関わりを増やすこと
 - ・サークルなどに入り、人脈を広げたい
 - ・サークルに入って先輩たちとも交流したい
 - ・部活がサークルに入りたい
 - ・サークル活動やイベントなどに積極的に参加したい
 - ・サークル仲間との飲み会
 - ・馬術部の活動
 - ・部活を楽しみつつ積極的に学習する
 - ・サークルなどに所属して、同じ学科の人だけでなく、他学科の人とも交流を深めたいと思っています。

新入生 365名中
74名
が部活やサークルがしたい!



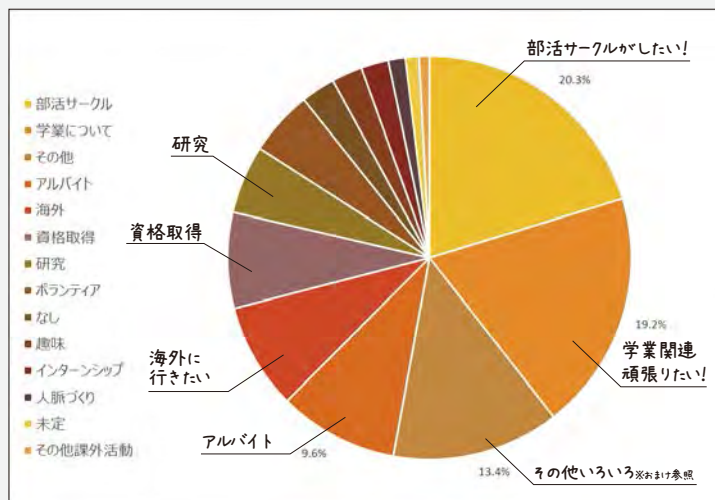
2^{Rank} 学業関連(実験・学外実習含む)

- (一部抜粋)
- ・たくさん実習をやりたい
 - ・フィールドワーク
 - ・学校生活を楽しみつつ、勉強をしっかり頑張りたい
 - ・国際ヤギ学会に出る
 - ・産業動物に関する知識を、より学んでいきたいと考えている
 - ・食品バイオを学んでみたい
 - ・水族館での体験
 - ・専門の獣医学以外の興味関心のある心理学、哲学について深く学びたい。
 - ・妥協をしない勉強
 - ・鳥についての知識を集めること。
 - ・都市の畜産農家へ研修に行きたいです
 - ・動物愛護などを深く学びたい、同志の仲間と考えを共有したい。
 - ・武蔵野賞獲得
 - ・勉強をして、自らの知見を広めたい
 - ・本を多く読む
 - ・理科の教員になりたいので物理を勉強したいです

新入生 365名中
70名
がやっぱり勉強したい!



やりたいこと	人数
学業関連について	70名
(うち実験・学外実習)	30名
(うち学会参加)	1名
研究	20名
インターンシップ	8名
資格取得	28名
海外	31名
アルバイト	35名
課外活動	3名
部活サークル	74名
人脈づくり	5名
趣味	9名
ボランティア	19名
その他	49名
未定	4名
なし	10名



おまけ (その他やりたいこと)
たくさん動物と触れ合う、チーズ作り、ポルネオなど野生動物の保護活動に参加したい、
みかんを育てたい、リゅうがく、自家製ピザ作り、彼女をつくる、楽しく過ごすetc...

ニチジュウらしい学びが
できるといいですね☆シ
応援しています!!



新企画開催記念!



ニチジュウふるさとFESTIVAL(通称ふるフェス)
は、同地方出身者に出会う機会を提供します!
大学報「Hello,we are NVLU」が、東京で頑張る
皆さんを応援する企画です。



今回はどの地区で開催でしょうか?

開催地区のご要望は、
ir-nvlu1@nvlu.ac.jp



までどうぞ!



佐賀	福岡	大分	山口	島根	鳥取	兵庫	京都	滋賀	岐阜	長野	群馬	栃木	茨城	千葉
長崎	熊本	宮崎	鹿児島	愛媛	香川	高知	徳島	和歌山	奈良	三重	愛知	神奈川	東京	大阪
新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	鳥取	島根
青森	秋田	岩手	山形	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
北海道														

南関東(一都三県)出身者は、やはり多く約3/4(74.6%)を占めます。

■学科別

学 科	V	N	Z	F	計
南関東出身者数 (%)	370名 65.6%	301名 72.7%	310名 79.3%	305名 85.7%	1,286名 74.6%
地方出身者数 (%)	194名 34.4%	113名 27.3%	81名 20.7%	51名 14.3%	439名 25.4%
在学者数	564名	414名	391名	356名	1,725名

学科によって、割合が結構違うんですね。
獣医学科では35%が遠方から入学しています。一方食品科学
科では、85%の学生が南関東(一都三県)出身者で、特に東
京都からは56.7%と半分以上を占めています。



■2019年度学部学生の1,725名の出身地区一覧

都道府県	計	地区計		
		地 区	人 数	割 合
北海道	15	北海道	15	0.9%
青森県	2	東北	36	2.1%
岩手県	3			
宮城県	14			
秋田県	2			
山形県	2			
福島県	13	北関東	83	4.8%
茨城県	43			
栃木県	20			
群馬県	20	南関東(一都三県)	1,286	74.6%
埼玉県	215			
千葉県	153			
東京都	750	中部	137	7.9%
神奈川県	168			
新潟県	17			
富山県	3			
石川県	16			
福井県	23	関西	81	4.7%
山梨県	2			
長野県	5			
岐阜県	7			
静岡県	30			
愛知県	34	中国	20	1.2%
三重県	7			
滋賀県	2			
京都府	8			
大阪府	35			
兵庫県	21	四国	17	1.0%
奈良県	5			
和歌山県	3			
鳥取県	0			
島根県	1			
岡山県	3	九州・沖縄	50	2.9%
広島県	11			
山口県	5			
徳島県	6			
香川県	4			
愛媛県	1	九州・沖縄	50	2.9%
高知県	6			
福岡県	1			
佐賀県	3			
長崎県	4			
熊本県	7	九州・沖縄	50	2.9%
大分県	5			
宮崎県	5			
鹿児島県	9	九州・沖縄	50	2.9%
沖縄県	7			

※原則、出身高校の都道府県で集計

ニチジュウ

CAMPUSNOW

News Topics

**オンラインショップ
tsunagu by NVLU SHOP
期間限定!オリジナルコンビーフネット販売**

8月末までの
期間限定!

**教職員・学生の受賞情報等
募集中!!**

学長室・企画調査課では、教職員・学生が
様々な活動における受賞情報等募集しており
ます。ぜひご一報ください。

学長室・企画調査課
ir-nvlu1@nvlu.ac.jp
メールはこちら→



産学連携で生まれたニチジュウオリジナルコンビーフを、
インターネットで販売することになりました!
発酵バター入りコンビーフが購入できるのは
このtsunagu by NVLU SHOPだけ!

【販売商品】

- **ベーシック3缶セット1,782円(税込)**

無塩せきコンビーフの3缶セットです。旨みがギュウっと詰まった
赤身牛肉「キタウシリ」をコンビーフにしました。

- **プレミアム4缶セット2,376円(税込)**

無塩せきコンビーフ(3缶)と、赤身牛肉「キタウシリ」を使用し、食
品科学科学生が商品開発を行った発酵バター入りコンビーフ(1
缶)を特別にお付けした4缶セットです。
無塩せきコンビーフと発酵バター入りコンビーフの風味の違い
をお楽しみいただけます。

関連記事

ご注文はこちらから!
tsunagu by NVLU SHOP



ベーシック3缶セット **1,782円(税込)**

無塩せきコンビーフの**3缶セット**です。
旨みがギュウっと詰まった
赤身牛肉「キタウシリ」をコンビーフにしました。
内容量: 無塩せきコンビーフ(95g)×3缶
※別途送料・梱包手数料がかかります。

プレミアム4缶セット **2,376円(税込)**

無塩せきコンビーフ(3缶)と、赤身牛肉「キタウ
シリ」を使用し、本学食品科学科学生が商品
開発を行った発酵バター入りコンビーフ(1缶)を
特別にお付けした**4缶セット**です。
無塩せきコンビーフと発酵バター入りコンビーフ
の風味の違いをお楽しみいただけます。
内容量: 無塩せきコンビーフ(95g)×3缶
発酵バター入りコンビーフ(95g)×1缶
※別途送料・梱包手数料がかかります。

**武蔵野市主催
「むさしの鳥・蝶しらべ〜春の鳥・蝶を観察しよう!〜」開催**

5月とは思えないほどの暑さとなった5月25日(土)、武蔵野市主催「むさしの鳥・蝶し
らべ〜春の鳥・蝶を観察しよう!〜」が亜細亜大学を会場に開催され、本学の学生団体
(カントリーと野生生物研究会)が講師役として協力しましたが、今回は、更に学生団体
を増やしての開催となりました。

自然生物に興味がある、周辺の生きものについてもっと知りたい武蔵野市内在住・
在勤・在学の小学生以上の方々10名と鳥や、チョウ・ガ・トンボなどの昆虫を探し、地図
を完成させました。

関連記事

【取材日誌】
武蔵野市主催「むさしの鳥・蝶しらべ〜春の鳥・蝶を観察しよう!〜」が
開催されました!活動内容はこちら!

【学生レポート】
獣医学科2年次学生2名のレポート



**武蔵野ふるさと歴史館×日本獣医生命科学大学
「キッズ・オープンキャンパス」開催**

6月29日(土)に、小学5・6年生及び中学生を対象とした「日本獣医生命科学大学キッ
ズ・オープンキャンパス」が開催されました。この企画は武蔵野ふるさと歴史館と本学
付属ワイルドライフ・ミュージアム共催の企画展「ヒトと動物の物語〜歴史民俗資料に
見る武蔵野の動物〜」の特別イベントとして行われたものです。

当日は梅雨時期ということもあり、天気心配されましたが、なんとか持ちこたえ、
26名の小・中学生、17名の保護者の皆様が参加しました。

今回は、有志の学生が「どうしたらニチジュウを知ってもらえるか?大学は楽しいとい
ころだと伝わるか?」を考えながら、企画を練りました。当日は犬と触れ合ったり、学芸員
の解説付きの本館見学、そして味覚の実験やバター作りなど、小・中学生だけでなく、
保護者の皆様も楽しんでくださっているようでした。

関連記事

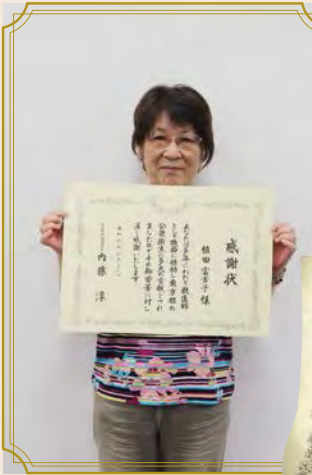
【取材日誌】
「日本獣医生命科学大学キッズ・オープンキャンパス」を開催しました!



公益社団法人東京都獣医師会創立70周年記念行事記念式典で本学教員が表彰されました!

6月23日(日)、公益社団法人東京都獣医師会の創立70周年記念行事として、麹町の都市センターホテルで行われた式典で本学の教員2名が表彰されました。

PICKUP



「東京都福祉保健局長感謝状」

**獣医学科 教授
植田 富貴子 Fukiko UEDA**

獣医公衆衛生学研究室の植田教授
は、多年にわたり職務に精励し、東京都
の公衆衛生に貢献した功績で感謝状が
授与されました。



「東京都獣医師会会長表彰状」

**獣医保健看護学科 教授
左向 敏紀 Toshinori SAKO**

東京都獣医師会会員対象の講習会やセ
ミナーを担当するという左向教授は、会務
の運営並びに獣医事の発展向上に寄与し
た功績で表彰されました。



**本館を登録有形
文化財として申請中**

ニチジュウのシンボル本館。この本館を国
の登録有形文化財として登録することにな
りました。羽山ワイルドライフ・ミュージアム
館長を中心に現在手続きを進めています。
本館は1909(明治42)年に麻布区役所と
して(現在の港区六本木付近)に竣工しまし
た。その後、本学の前身校である日本高等
獣医学校(武蔵野市)に移築されました。
1923(大正12)年の関東大震災を乗り越
えた明治以前の木造建築は都内において
希少な建物です。

※今年中に申請結果が届く予定となっ
ています。



**動物看護師の
国家資格化**

愛玩動物看護師法案が6月13日(木)の衆
議院本会議、6月21日(金)の参議院本会議
で可決、成立しました。これにより、国家資
格「愛玩動物看護師」が制定されます。

今後、政令により詳細が定められると
ともに、施行されることになります(公布日か
ら3年以内)。

関連記事

【獣医保健看護学科ニュース】
学科からのメッセージはこちら



**日本獣医生命科学大学学友会
馬術部 祝・創部80周年!**

日本獣医生命科学大学馬術部は、今年で創部80周年
を迎えました。現在馬術部は第二校舎の馬場で9頭の馬
たちと活動しています。

また、馬術部は創部80周年を記念して、祝賀会を9月
21日(土)に新宿にある京王プラザホテルにて開催する予
定です。

この度馬術部は創立80周年を迎えます。このような記念す
べきときに馬術部の部員であるということに誇りを感じており
ます。歴代の先輩に続けるよう、全日本学生馬術大会等での
活躍を目指し活動しています。馬という生き物への理解を深
め、大学や地域との交流ある活動を増やし、地域社会に貢献
できるよう努力してまいります。(部長:川越 美尋さん)
文武両道で80年!馬術部は大学にとって無くてはならない
存在。「100周年に向けて」、馬の素晴らしさを地域の方々にも
広めて欲しい。(顧問:左向 敏紀 教授)

関連記事

【ニュース】武蔵野市民体育大会の様子。
馬術部学生の地域貢献レポート!



**10月23日(水) 令和元年度
体育祭を開催します!**

今年度の体育祭が、日本医科大学と合同で10月23日
(水)に開催されます。
今年は騎馬戦に代わり、新たな種目が追加される予定
です。

昨年は研究室から参加があり、大変盛り上がりました。
今年はさらに多くの研究室の参加をお待ちしております。
受付は9月30日(月)までですので、参加をお考えの方は、申
込をお早めにお済ませください。



昨年の体育祭当日の様子



参加希望の団体は学内に
あるポスターを確認してお
申し込みください。▶



**第4回医獣祭
テーマは『梅花の宴』**

日本医科大学と合同開催となって早4回目となった今年
の医獣祭。今年のテーマは『梅花の宴』。『梅花の宴』は、新
元号の令和と関係するものであり、「令和」とは万葉集の歌
にある序文が参考になっています。その背景には、大宰府
の長官だった大伴旅人が大宰府近辺で催された宴の様子
を表す序文であり、「梅花の宴」とも呼ばれているそう。

元号が変わり、令和になって初の医獣祭ということで、
日本医科大学との連携もより強くし、例年通り力を合わせ
て「新しい時代」の「新しい医獣祭」を作っていこう!という意
味が込められているそう。

今年は、昨年にはなかったニチジュウらしい展示が
登場する予定。

11月1日(金)〜11月3日(日)までの3日間、宴を楽しみ
ましょう!

◆医獣祭実行委員のみなさん

(左上から)
石橋利希さん(2Z)、佐々木美緒さん(2N)、江島礼紗さん(2Z)、
長谷部楓子さん(2N)
(左下から)
芳賀亜依子委員長(3N)、野瀬優希さん(3N)、長島葉奈さん(3N)





富士アニマルファーム新牛舎での実習 ～獣医保健看護学科1年次獣医保健看護学体験実習～



5月13日～17日までの5日間、獣医保健看護学科1年次の獣医保健看護学体験実習で富士アニマルファームの新牛舎を使って実習が行われました！
実習では、朝5時と夕方の牧場作業で清掃や給餌で新牛舎を利用しました。
新牛舎は大きな扇風機が付いていて空気の循環ができ、温度管理ができる施設です。そして、窓を開けると室外の明かりがたくさん入り込んで明るい！作業もしやすくなりました。

これから夏本番の実習シーズンです。
新牛舎を利用した実習がそれぞれ計画されています。
楽しみに！



明るく、新しい牛舎で牛たちは元気に過ごしているようです。
カメラにも興味深々で顔を見せてくれます。



撮影しました!!

牧場だより「継・いのち」第208号で獣医保健看護学科「獣医保健看護学体験実習」について掲載しています。

1年次担任 藤澤 正彦 講師からのレポート



富士アニマルファーム牧場長
吉村 格 Itaru YOSHIMURA

編集後記

中長期計画の学生に関するビジョンの1つとして定めた「学生の未来を支援できる輪を持つ大学にします」について、本学の「学生支援の輪」がどのようなものなのか、それを知りたくて取材を開始しました。学生部、学生相談室、保健センター、学生支援課、担任、カウンセラーなど、様々な組織・教職員が学生一人ひとりの今を支援し、希望をもって獣医師や社会人・職業人として社会に巣立っていけるよう見守っていることを知りました。その取り組みの先に「学生の未来を支援できる輪を持つ大学」の達成があると強く実感いたしました。今後もその「輪」に注目してまいります。(ふるフェス、次はどここの地区になるのかな?)

次回予告

次号は2019年12月中旬に発行を予定しております。
テーマは「教育」です。
ニチジュウで行われている特色ある教育の情報を中心にお伝えいたします。

vol.67表紙絵

獣医学科2年次
神田 風さん

C棟から見える景色を基にキャンパスを描きました。ニチジュウのシンボルである本館、購買、アリーナと学食、待ち合わせ場所のモーモーベンチ。毎日見る光景から楽しく温かい雰囲気が伝わればと思います。

動物の中でも鳥が好きで、特に夏らしい青色が魅力のオオルリを選びました。オオルリは夏に沢山の緑の中で見られ、雄は深く鮮やかな青い羽根を輝かせながら伸びやかにさえずります。羽根のやわらかさと繊細さを伝えるため背中の質感にこだわりました。この夏はぜひ近くの森林でオオルリを探してみてください。



ご意見・ご感想・取材依頼 募集中!!

大学報に対するご意見・ご感想をお知らせください。また、ニチジュウベストショットへの掲載や「私たちこんな活動しているよ!」等の情報をお待ちしております。

担当事務:
学長室・企画調査課
ir-nvlu1@nvlu.ac.jp
メールはこちら→



大学ホームページへの掲載

大学ホームページから、大学報「Hello,we are NVLU」をpdfで配信します。

<https://www.nvlu.ac.jp/universityguidance/023.html/>

電子版はこちらからどうぞ



Hello,we are NVLU(ニチジュウ)
—日本獣医生命科学大学報—
第67号(2019年8月号)

2019年8月9日発行

協力(以下敬称略)
学生:中山深 密本亜矢子 渡邊咲 佐藤勇太 宮下真菜 西城亜里 大山結衣 大山萌恵 安藤衿子 稲葉嶺 佐藤愛 手代木将吾 村山ひとみ 屋良佳菜 丸山夢翔
卒業生:飯野章 飯野夏世(アメリカン動物病院) 関口弦司(日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社)
教職員:柿沼美紀 吉田充 三浦孝之 野瀬出 山本昌美 有村裕 小林史幸 大坂元久 左向敏紀 生野佐織 松藤薫子 知久和寛 藤澤正彦 竹村直行 小澤壮行 植田富貴子 吉村格 馬場雅子 学生支援課の皆さん
Special Thanks:渡邊直哉 小川大輔

その他ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

表紙/神田風
イラスト/A.S.

編集・発行/日本獣医生命科学大学
IR推進委員会

(編集委員)
羽山伸一 近江俊徳 野瀬出 知久和寛 高橋勝 大沼友美 服部沙由花 上野美可子

印刷/相互ビジネスフォーム株式会社

nichistagram

#ニチジュウの日常

Related Hashtags: #ご投稿くださった皆さま #ありがとうございます #次回もまた #投稿してね

